

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第45週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (45 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：報告なし。
 4 類感染症：日本紅斑熱 1 例、レジオネラ症 1 例。5 類感染症：梅毒 2 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			30歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		延岡	70歳代	男	結核性腹膜炎	発熱、腹水
4類	日本紅斑熱	都城	80歳代	女	—	発熱、発疹、肝機能異常
	レジオネラ症	宮崎市	60歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、腹痛、下痢、肺炎
5類	梅毒	宮崎市	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹
		都城	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹
	百日咳	宮崎市	40歳代	男	—	持続する咳、痰

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,001 人 (定点当たり 29.3) で、前週比 92% と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は 86 人 (1.5) で、前週比 187% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (3.5) の約 0.4 倍であった。中央 (9.5)、都城 (3.2)、小林 (3.0) 保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 42 人 (0.7) で、前週比 100% と横ばいであった。高千穂 (2.0)、延岡 (1.9)、小林 (1.3) 保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

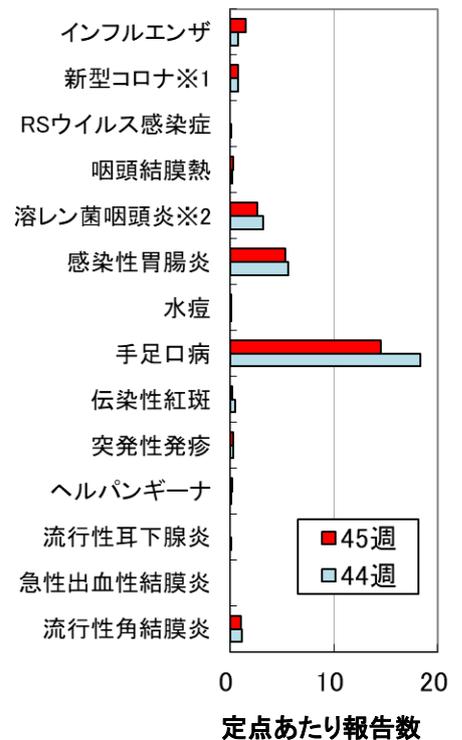
報告数は 193 人 (5.4) で、前週比 96% とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (4.4) の約 1.2 倍であった。日南 (11.3)、中央 (9.0)、宮崎市 (6.6) 保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

【手足口病】

報告数は 522 人 (14.5) で、前週比 79% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (2.4) の約 6 倍であった。小林 (29.7)、日向 (19.3)、宮崎市 (15.6) 保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 5 歳が全体の約 8 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

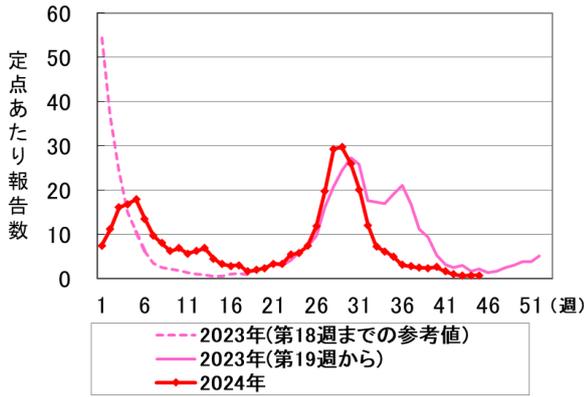
《前週との比較》



※1 新型コロナウイルス感染症

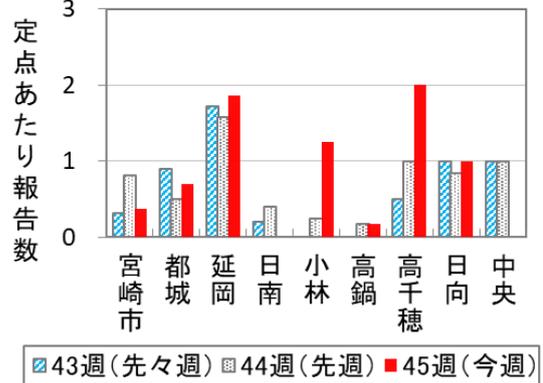
※2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

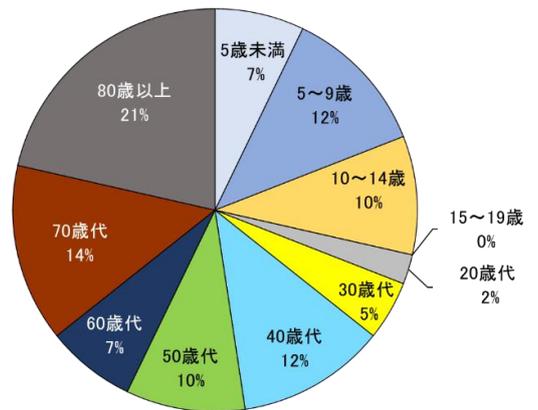


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

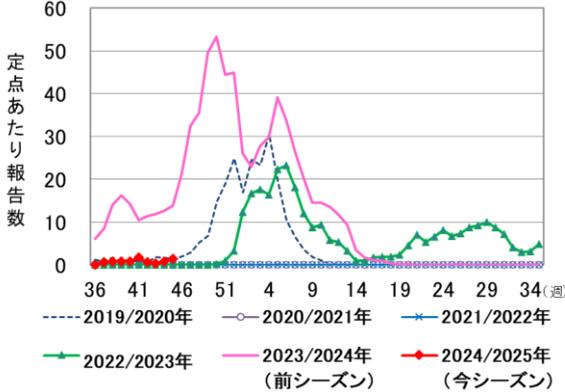
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



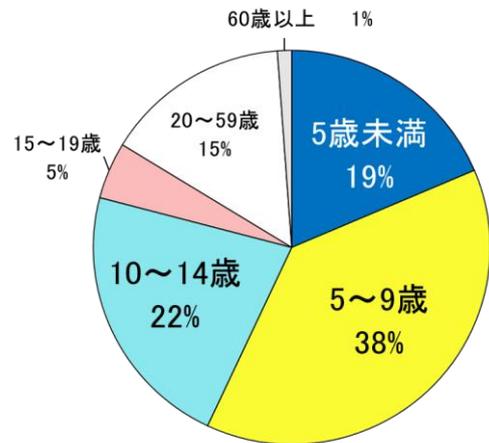
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第45週)



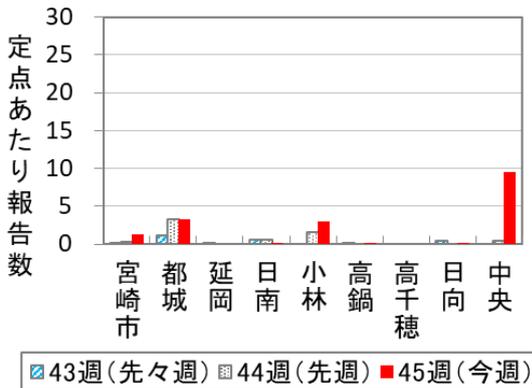
インフルエンザ 発生状況



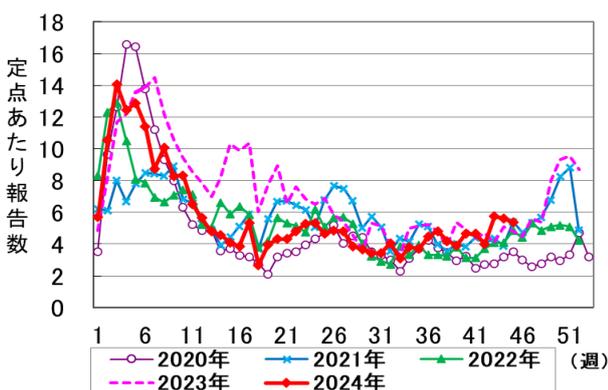
インフルエンザ年齢群別グラフ(第45週)



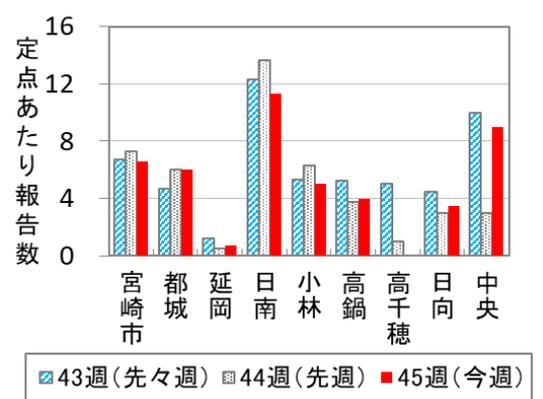
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



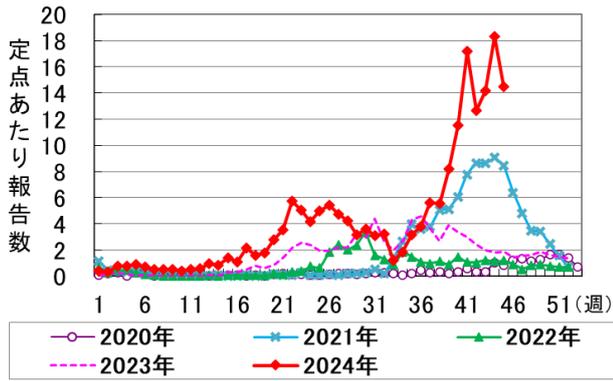
感染性胃腸炎 発生状況



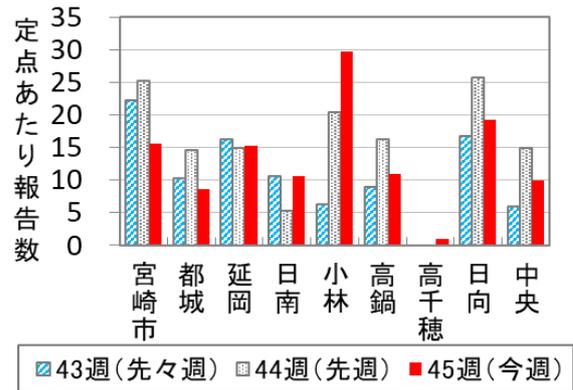
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は17例(定点当たり2.4)で、前週比3.4倍と増加した。日向(8例)、延岡(5例)、宮崎市(3例)、都城(1例)保健所から報告があった。年齢は5～9歳が6例、10～14歳が6例、0～4歳が3例、30歳代が2例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(15.6)
都城	手足口病(8.7)
延岡	手足口病(15.3)、伝染性紅斑(2.0)
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)、手足口病(10.7)
小林	手足口病(29.7)
高鍋	手足口病(11.0)
高千穂	なし
日向	手足口病(19.3)
中央	手足口病(10.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・手足口病(5)
- ・伝染性紅斑(2)

口病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部 令和6年11月11日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Haifa (O4:z10:1,2)	20歳代	女	2024.10.07	発熱、水様性下痢、腹痛	便	2024.10.16
<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	20歳代	女	2024.10.10	発熱、腹痛、嘔吐	便	2024.10.18
<i>Salmonella</i> Soumbedioune (O28:b:en,x)	10歳代	女	2024.10.11	発熱、水様性下痢、嘔吐	便	2024.10.18
EPEC(OUT:HUT)	0～4歳	男	2024.10.11	発熱、水様性下痢、腹痛、嘔吐	便	2024.10.22
EPEC(OUT:H18)	10歳代	女	2024.10.17	発熱、下痢、腹痛	便	2024.10.25
<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	10歳代	女	2024.10.17	発熱、水様性下痢、腹痛	便	2024.10.23
EHEC(O111:HNM VT1,2)	50歳代	男	2024.10.18	腹痛、下血	便	2024.10.23
EHEC(O111:HNM VT1,2)	50歳代	男	2024.10.25	なし	便	2024.10.30
EHEC(O111:HNM VT1,2)	30歳代	男	2024.10.25	なし	便	2024.10.29
EHEC(O111:HNM VT1,2)	50歳代	男	2024.10.28	なし	便	2024.10.31
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	10歳代	男	2024.10.29	下痢	便	2024.11.05

○30代、50代の男性から、腸管出血性大腸菌(EHEC)が検出された。EHEC感染症はVero毒素(VT)を産生、またはVT遺伝子を保有するEHECの感染によって起こり、主な症状は腹痛、下痢および血便である。嘔吐や38℃台の発熱をとまなうこともある。VT等の作用により血小板減少、溶血性貧血、急性腎障害を来して溶血性尿毒症症候群(HUS)を引き起こし、脳症などを併発して死に至ることがある(IASR Vol.44 No.5(2023.5))。EHEC感染症は夏季に増加する傾向にあるが、例年秋から冬にかけても発生しており、今後も注意が必要である。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Influenza virus A H1pdm09	10歳代	男	2024.09.24	インフルエンザA型、39.4℃	鼻腔ぬぐい液	2024.10.29
Influenza virus A H1pdm09	0～4歳	男	2024.10.03	インフルエンザA型、40.3℃	鼻腔ぬぐい液	2024.10.29

○インフルエンザと診断された患者2名から Influenza virus A H1pdm09 が分離・検出された。2024/2025 シーズンの当所におけるインフルエンザウイルスの分離・検出の報告は今回が初である。なお、2024年第41週に定点あたりの報告数が1を超え流行シーズンに入っている。

📊 全国 2024 年第 44 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	388 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	81 例		
4類感染症	E型肝炎	12 例	A型肝炎	2 例	オウム病	1 例
	コクシジオイデス症	1 例	重症熱性血小板減少症候群	5 例	チクングニア熱	1 例
	つつが虫病	6 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	23 例
	ポツリヌス症	1 例	レジオネラ症	51 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	33 例
	急性脳炎	6 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18 例	後天性免疫不全症候群	9 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	31 例	水痘(入院例)	9 例
	梅毒	165 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	120 例	麻疹	2 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 99%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は 5,127 人(1.0)で前週比 120%と増加した。今回は、定点当たり報告数が流行開始の目安である 1.0 を上回り、流行シーズンに入った。例年同時期の定点当たり平均値*(4.1)の約 0.3 倍であった。沖縄県(10.6)、静岡県(2.1)、千葉県(2.0)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

手足口病の報告数は 24,094 人(7.7)で前週比 96%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.9)の約 8.5 倍であった。愛媛県(18.6)、宮崎県(18.3)、岩手県(17.8)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 5 歳が全体の約 7 割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は 1,183 人(2.5)で前週比 99%とほぼ横ばいであった。青森県(5.7)、埼玉県(5.3)、岐阜県(4.6)からの報告が多く、本県の定点当たりの報告数は 0.7 であった。全国の年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

📊 月報告対象疾患の発生動向 <2024年10月>

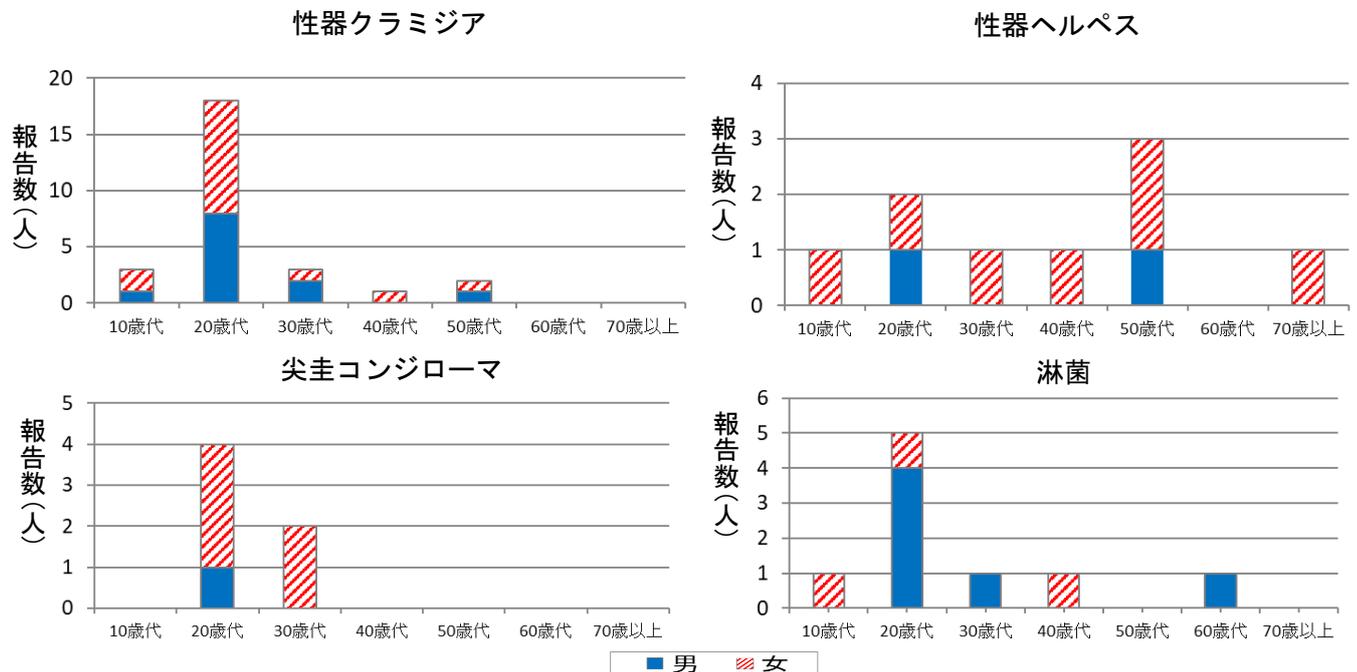
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は51人(3.9)で、前月比93%と減少した。また、昨年10月(3.5)の約1.1倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数27人(2.1)で、前月の約0.8倍、昨年10月の約1.1倍であった。
20歳代が全体の約7割を占めた。(男性12人・女性15人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数9人(0.69)で、前月の約0.8倍、昨年10月の約1.1倍であった。(男性2人・女性7人)
- 尖圭コンジローマ：報告数6人(0.46)で、前月の3倍、昨年10月の2倍であった。(男性1人・女性5人)
- 淋菌感染症：報告数9人(0.69)で、前月の約1.3倍、昨年10月の0.9倍であった。(男性6人・女性3人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,856人(5.0)で、前月比105%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,678人(2.7)で前月比104%、性器ヘルペスウイルス感染症879人(0.90)で前月比106%、尖圭コンジローマ569人(0.58)で前月比109%、淋菌感染症730人(0.75)で前月比103%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は15人(2.1)で、前月比46%と減少した。また、昨年10月(1.7)の約1.3倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数15人(2.1)で、前月の0.5倍及び昨年10月の約1.3倍であった。70歳以上が全体の約半数を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,398人(2.9)で、前月比109%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,326人(2.8)で前月比108%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症66人(0.14)で前月比156%、薬剤耐性緑膿菌感染症6人(0.01)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2024年 第45週(11月04日～11月10日)

疾病名		第44週	第45週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	46	86	20	32		1	12	1		1	19
	定点当り	0.79	1.48	1.25	3.20	0.00	0.20	3.00	0.17	0.00	0.17	9.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	42	42	6	7	13		5	1	4	6	
	定点当り	0.72	0.72	0.38	0.70	1.86	0.00	1.25	0.17	2.00	1.00	0.00
RSウイルス感染症	報告数	4										
	定点当り	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	8	11	2		3					6	
	定点当り	0.22	0.31	0.20	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	115	94	30	10	12	24		6		8	4
	定点当り	3.19	2.61	3.00	1.67	3.00	8.00	0.00	1.50	0.00	2.00	4.00
感染性胃腸炎	報告数	202	193	66	36	3	34	15	16		14	9
	定点当り	5.61	5.36	6.60	6.00	0.75	11.33	5.00	4.00	0.00	3.50	9.00
水痘	報告数	2	5	2	1				2			
	定点当り	0.06	0.14	0.20	0.17	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	660	522	156	52	61	32	89	44	1	77	10
	定点当り	18.33	14.50	15.60	8.67	15.25	10.67	29.67	11.00	1.00	19.25	10.00
伝染性紅斑	報告数	18	9	1		8						
	定点当り	0.50	0.25	0.10	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	10	10	7				2	1			
	定点当り	0.28	0.28	0.70	0.00	0.00	0.00	0.67	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	5	6	2		3					1	
	定点当り	0.14	0.17	0.20	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2										
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	6		6							
	定点当り	1.17	1.00	0.00	3.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	5	17	3	1	5					8	
	定点当り	0.71	2.43	3.00	1.00	5.00	0.00	0.00	0.00		8.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～45週 保健所受理分)

2類感染症	結核	101例(3)		
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	39例	
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	15例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	3例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	侵襲性肺炎球菌感染症	15例
	梅毒	135例(2)	播種性クリプトコックス症	4例
	百日咳	48例(1)		
			重症熱性血小板減少症候群	7例
			レジオネラ症	16例(1)
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
			後天性免疫不全症候群	2例
			水痘(入院例)	5例
			破傷風	2例

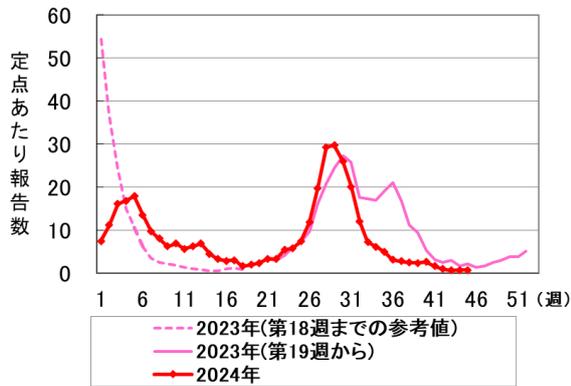
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第45週、全国第44週（再掲）》

□ 県内第45週 新型コロナウイルス感染症発生動向

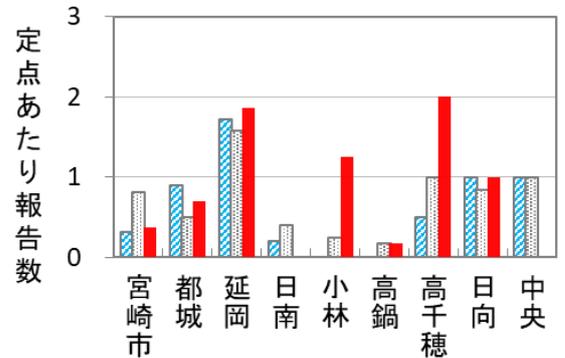
11月4日～11月10日までの1週間で42人(0.7)の報告があり、前週比100%と横ばいであった。高千穂(2.0)、延岡(1.9)、小林(1.3)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況



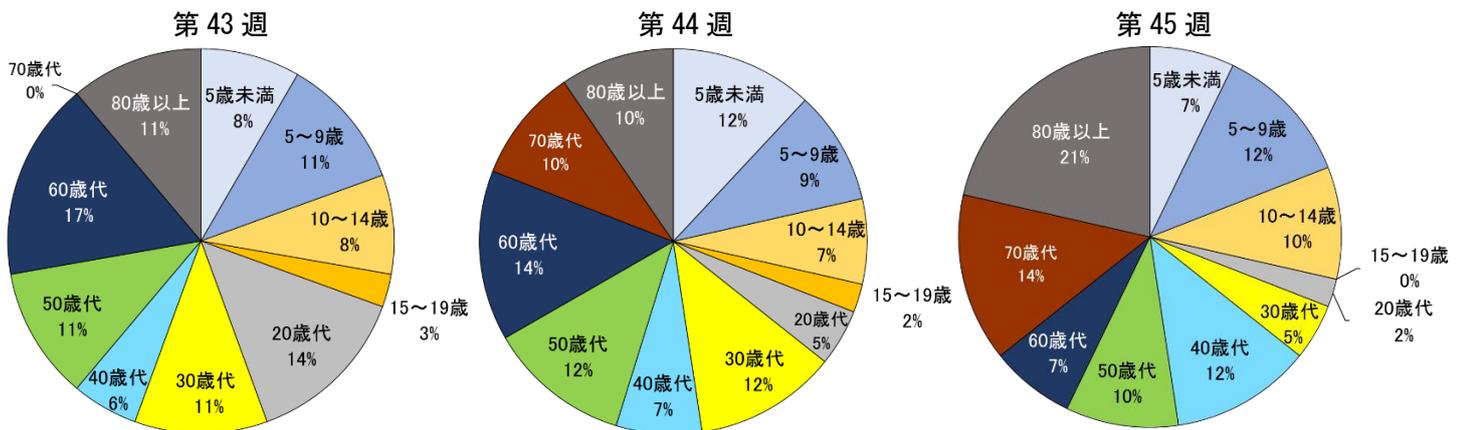
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

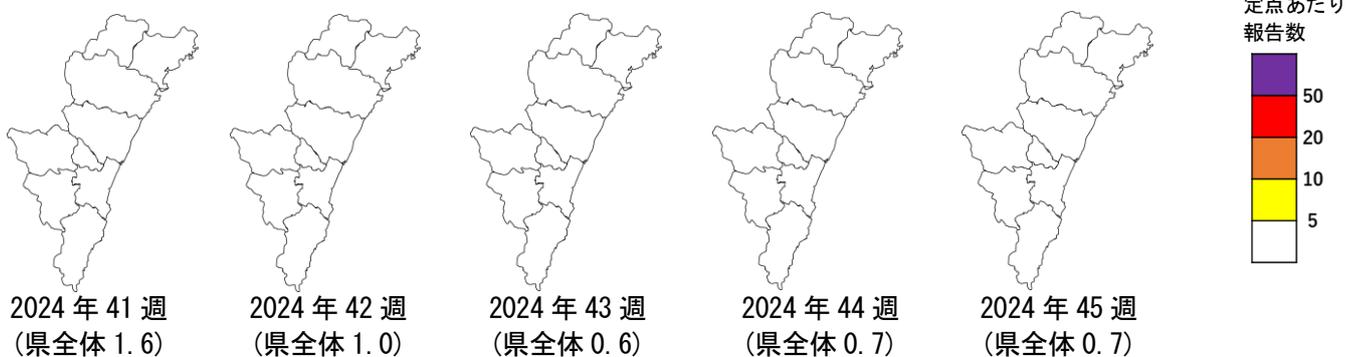


■43週(先々週) ■44週(先週) ■45週(今週)

新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第41週～2024年第45週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第44週 新型コロナウイルス感染症発生動向

10月28日～11月3日までの1週間で7,752人(1.6)の報告があり、前週比93%と減少した。秋田県(3.6)、北海道(3.3)、岩手県(3.0)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約2割を占めた。